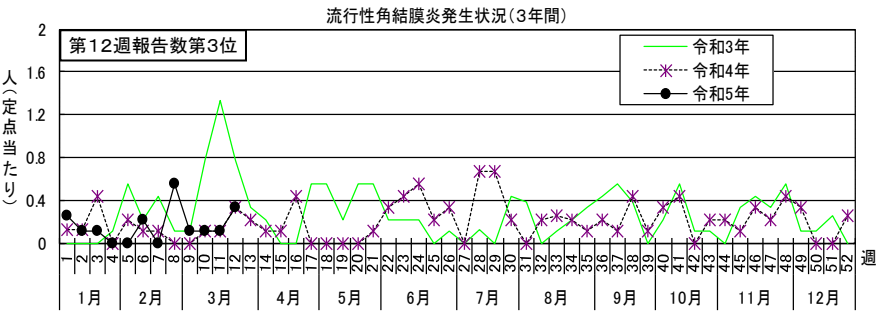
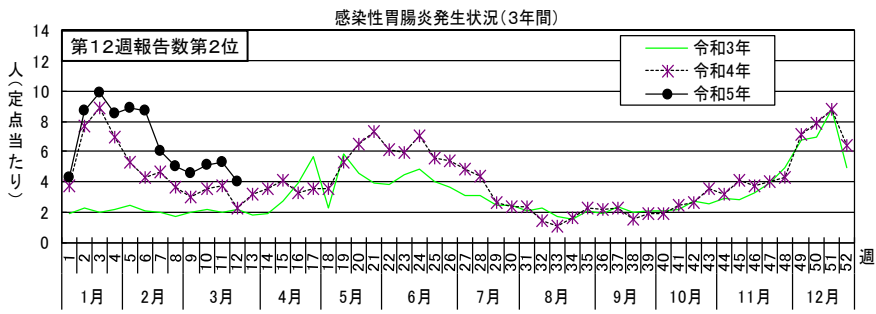
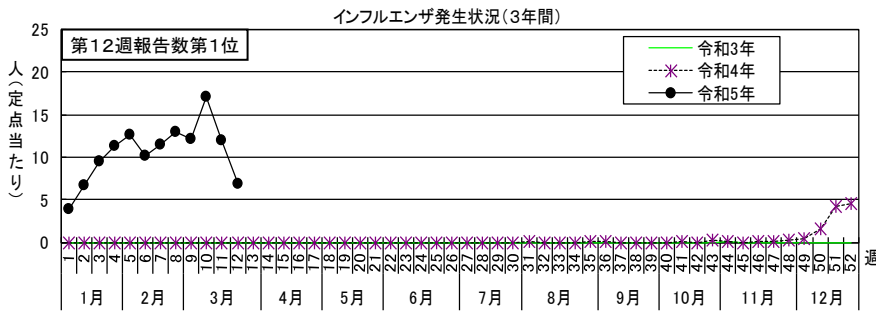


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年3月20日（月）～令和5年3月26日（日）〔令和5年第12週〕の感染症発生状況

第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）流行性角結膜炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は6.90人と前週（12.03人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.05人と前週（5.27人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.33人と前週（0.11人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



新年度に向けて、今一度「感染症対策」の確認を！

新年度を迎え、学校や保育園等で新たに集団生活が始まると、人との接触の機会が増加し、感染症にかかるリスクも高くなります。感染症を防ぐには、感染源を断つ、感染経路を遮断する、免疫力を向上させることが重要です。感染経路は、感染源となる病原体の種類により異なるため、周囲の流行状況を把握した上で、適切な対策を実施することが大切です。また、ワクチン接種による免疫力の獲得も、感染症の予防には非常に有効です。

お子さんの体調が悪い場合は、早期診断や早期治療のためにも、無理をせず早めに医療機関を受診しましょう。

感染経路別対策

【飛沫感染】(主な病原体：A群溶血性レンサ球菌、インフルエンザウイルス等)



- ・咳エチケット
- ・体調不良の大人はマスクを着用

【接触感染】(主な病原体：ノロウイルス、アデノウイルス等)



- ・手指衛生
- ・家庭でもタオル等の共用を避ける。
- ・吐物やおむつ等の適切な処理

【空気感染】(主な病原体：麻疹ウイルス、水痘・带状疱疹ウイルス等)



- ・部屋の換気
- ・ワクチン接種

感染力が非常に強い麻疹などは、ワクチン接種が極めて有効です。

【経口感染】(主な病原体：腸管出血性大腸菌、黄色ブドウ球菌等)



- ・食材の適切な温度管理
- ・食材の十分な加熱
- ・調理器具の洗浄